



令和8年1月30日

各 位

会 社 名 オエノンホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 西永 裕司
 (コード番号 2533 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役コーポレートコミュニケーション室長
 田中 直子(TEL 03-6757-4584)

業績予想の修正および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、令和7年7月30日に公表した業績予想および令和7年12月期の期末配当予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 修正の内容

令和7年12月期 通期連結業績予想数値の修正(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|---------------|--------------|--------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 百万円 86,500 | 百万円 3,800 | 百万円 3,850 | 百万円 2,900 | 円 銭 51.25 |
| 今回修正予想(B) | 87,600 | 4,100 | 4,250 | 3,100 | 54.68 |
| 増減額(B－A) | 1,100 | 300 | 400 | 200 | |
| 増減率(%) | 1.3 | 7.9 | 10.4 | 6.9 | |
| (ご参考)前期実績 (令和6年12月期) | 84,104 | 3,448 | 3,629 | 2,729 | 47.39 |

(2) 修正の理由

売上高につきましては、酒類事業において、物価上昇による節約志向の高まりから値ごろ感のあるチューハイなどのPB商品、甲乙混和焼酎の「すごむぎ」「すごいも」シリーズが好調に推移したことなどにより、前回発表予想を上回り、過去最高となる見込みであります。

また、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、酒類事業における売上高の増加に加え、酵素医薬品事業において想定より製造原価が低減したことなどにより、前回発表予想を上回る見込みに修正しております。なお、営業利益、経常利益につきましても過去最高益となる見込みであります。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

令和7年12月期の配当予想数値の修正

| | 1株当たり年間配当金 | | |
|-------------------|------------|--------------------------------------|--------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| 前回予想（令和7年2月12日発表） | － | 10円00銭 | 10円00銭 |
| 今回修正予想 | － | 11円00銭 | 11円00銭 |
| 当期実績 | － | | |
| 前期実績（令和6年12月期） | － | 10円00銭 （普通配当8円00銭） （記念配当2円00銭） | 10円00銭 |

(2) 修正の理由

当社の業績、連結決算の状況、中長期的な収益状況、設備投資計画、適正な内部留保額、配当性向などを総合的に勘案しながら、継続的・安定的な配当を行うことを基本方針とし、「中期経営計画2028」では、D O Eの水準を2.5%程度へ引き上げることを目標としております。

当期の期末配当金につきましては、前回予想(令和7年2月12日)におきまして1株当たり10円としておりましたが、当該方針および上記「1.業績予想の修正について」のとおり、利益面において前回発表予想を上回る見込みであることを踏まえ、前回予想より1円増配し、1株当たり11円に修正することといたしました。

なお、本件につきましては、令和8年3月23日開催予定の第119期定時株主総会に付議させていただきます。

※上記の業績予想および期末配当予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上